

# 病院・商業施設・工場等へ発電設備を販売・据付・保守 株式会社東北多紀システック(仙台市)



仙台本社建屋の案内板



仙台市宮城野区の本社建屋の全景

今回は「株式会社東北多紀システック」取材しました。代表者は代表取締役社長の皆川賢（みなかわ・まさる）氏。☎022-788-1622。宮城県仙台市宮城野区萩野町3-8-56（〒983-0043）に本社を置く販売・設計施工会社です。

特長として、多紀システック株式会社（瀧下正通社長、☎048-948-8490、埼玉県三郷市）より独立した関連会社として、自家発電設備、非常動力装置、排煙装置、直流電源装置、無停電電源装置に関する販売・設計施工・据付工事・保守点検等に一貫して取り組んでいます。東北地区をカバーし、電気工事業・機械器具設置業等に邁進する株式会社東北多紀システックを紹介します。

## ◆ 設立の経緯 ◆

株式会社東北多紀システックは平成15年（2003年）5月1日、宮城県仙台市に設立されました。設立者であり、初代社長を務めたのは田中誠（たなか・まこと）氏。宮城県仙台市出身。

田中氏は、発電設備や汎用エンジンのメーカーであるヤンマー株式会社を皮切りに、鉄道車両部品、産業機械のユニバーサルジョイントや大型熱交換器の商社兼メーカーである株式会社中村自工でのサラリーマン

生活を経て独立開業した、豊富な実務経験を持つエンジニアでした。

両社で、エンジニアとして、また、技術と営業を兼業した技術営業職として、営業・販売・設計施工等の技術全般にまで一貫して従事していました。

土木工事、建築工事、設備工事を手がける専門工事業者である「サブコン」向けに、国内製の汎用エンジンを搭載した自家発電設備に関するエンジニアリング全般を担当していました。また、海外製の汎用エンジンを搭載した排煙装置やポンプの組立・販売や、ボイラーの販売・据付工事等を行っていました。

自家発電設備に関するエンジニアリングや、自家発電設備を扱う取引先の電気工事業者との交流を通じて、田中氏はその後運命を変える「若い知己（ちき）」を得ました。のちに、多紀システック株式会社の創業者となり、現在、会長を務める瀧下正樹（たきした・まさき）氏との出逢いでした。

当時、ヤンマー株式会社が主催した『セールスコンクール』に28歳で初出場し優勝した瀧下氏は、今で言う「卓越したプレゼンテーション能力」を推薦根拠に、サブコン関係者等から熱心に独立を勧められました。瀧下氏の創業に伴い田中氏は中村自工を退社し、瀧下氏の会社へ転職しました。

その後、本社から仙台営業所を分離し、独立した別会社とする事業計画の決定を受け、田中氏は退職を決意。平成15年（2003年）5月1日、仙台営業所を事業承継する形で、「株式会社東北多紀システック」を設立し、自らが社長に就任しました。

## ◆事業の変遷◆

株式会社東北多紀システックは、多紀システック株式会社の仙台営業所を前身とする関連会社です。しかしながら、両社は現時点で、完全に独立した別会社となっています。

平成26年（2014年）に、代表取締役社長の田中誠氏が逝去したのに伴い、後任の2代目社長として、皆川賢氏が就任しました。

平成30年（2018年）8月現在、資本金は2,000万円。従業員数は27名。平均月商は約9,000万円で、年間売上高は約10億8,000万円となっています。

直近の売上高を構成比別にみると、非常用の自家発電設備の「販売部門」が売り上げ比、約60%を占め、次いで「据付工事部門」が約20%、「保全部門」が約20%となっています。

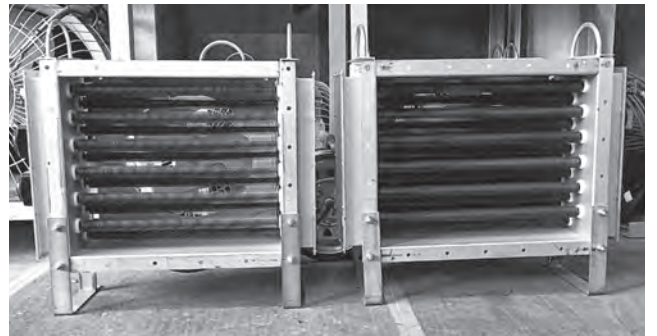
株式会社東北多紀システックでは、主な製品の納入先については、「官公庁向け」が圧倒的に多く、売上高の6割～7割を占めているといいます。また、受注から納入までの所要期間については、3か月～6か月間を想定しています。顧客の細かなニーズにも対応するため、仙台市宮城野区宮千代に「加工工場」及び「備蓄倉庫」を設置して納期短縮化に努めています。

「平成23年（2011年）3月11日に発生した東日本大震災以降、国民の防災意識の高まりを反映して、BCP（事業継続計画）対策として導入が計画されている官公庁向け発電設備及びその燃料タンクについては、いずれも容量規模は、大型化及び長時間化する傾向がみられます。特に発電設備は大震災前に比べ、発電容量規模は約2割増加しています」（皆川賢社長談）。

発電容量規模が増加する傾向に対応するため、同社は現在、総務部を除く、エンジニアリング部14名（設計グループ・工事グループ）、技術サービス部8名（メンテナンスグループ）、営業部3名（営業グループ）という3部体制を敷いて対応しています。



製函の溶接作業



低圧の発電設備負荷試験装置

## ◆注力する分野◆

株式会社東北多紀システックでは、主な事業としては、電気工事、機械器具設置工事、消防施設工事、管工事を展開しています。設立以来、非常用の発電設備の導入提案から販売・設計施工・据付工事・保守点検の業務に取り組んでいます。

また、発電設備負荷試験等の各種試験の一式請け負い、さらに、蓄電池やモーター、直流電源盤、無停電電源装置（UPS）、消防用設備機器の販売・設計施工・据付工事・保守点検の業務にも、自社で首尾一貫した対応を講じています。

そうした取り組みが顧客から高い評価を受け、地域拠点病院等向けに停電対策用の非常用自家発電設備を設置する等、豊富な納入実績を持っています。営業エリアは東北全域をカバーしています。

今後の取り組みについては特に自家発電設備に関して、販売業務を強化するとともに、設置後のメンテナンス業務の受注獲得にも注力していきたい。原動機種類別では、ディーゼルエンジンは販売・据付工事・メンテナンス業務を、ガスエンジンは販売・据付工事業務を、ガスタービンは従来より据付工事の請け負いが多く今後は販売業務も、それぞれ積極的に取り組み、売上高を増やしていきたいとしています。